

第7期きのくに教育審議会第3回会議 委員発言概要 (R4.11.8)

カテゴリ	発言要旨
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントの情報提供、周知のためのポータルサイトがあるとうれしい。 ・子供たちの声を聞く機会が重要。 ・計画を立てるだけでなく実施していくことが大事で、教育委員会や学校だけでなく、みんなでやっていきましょうよ、ということがとても大事。
幼児教育	<ul style="list-style-type: none"> ・正規採用の先生が増えて、より充実した幼児教育を。幼少連携も充実を。
不登校	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校は、「あってはならない」から、「ある程度あって当然。それにどう向き合っていくか」という発想が大事。時代によって発想を変えることが大事。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動を始める前に地場産業や地元企業、どんな仕事があるかなどを学べる工夫が必要。本当にやりたい仕事を選べる環境づくりが重要。 ・農業教育にしっかり取り入れてほしい。 ・専門教育を学んで専門家になるだけじゃなく、学んだことをふるさと（地域）に還元し貢献していくといった文言も入れてほしい。 ・グローバルに活躍する人材の育成について、母国やふるさとに対する深い理解と誇りを持った人材を育成するのが大前提。
再編整備	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな校舎でガラガラの教室だと子供たちの学ぶ意欲を削いでしまうのではないかと思うので、適正な再編整備は必要ではないか。
ICT・DX	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの危険性についても記載してほしい。 ・和歌山なりの教育DXを先導的に掲げていってほしい。
コミュニティ・スクール	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールは、学校だけやるものではない、社会教育と学校教育の重なった部分で運営・展開されているということを明確に示していただきたい。 ・学校の先生だけではなく大人が学校に関わることで、子供たちには学校で数値によって評価されること以外の学びをたくさんもって育ってほしい。
コミュニティ・スクール 生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習でインプットしたことをアウトプットする場所を。アウトプットする場所として、コミュニティ・スクールと関連付けてほしい。
教職員の勤務環境	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が生き生きしていると教員を志望する人も増えると思うので、教職員の勤務環境の改善は是非とも実現してほしい。 ・教員免許の更新制度が変わるので、教職員の研修を充実させてほしい。
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・この5年で大きなスポーツイベントが続くので、子供たちがスポーツに関心を持つきっかけにし、やりたいと思った子供たちの受け皿を、競技団体や総合型クラブと構築していただけたら。
文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生だけでなく、小・中学生にも音楽の魅力を伝えて高校や大学で学んでもらうために、派遣事業等の機会の充実や周知を行ってほしい。 ・芸術の多様性も意識し、多様な文化に触れられる機会を増やしてほしい。敷居の低いものだと県民に捉えてもらって全体の底上げをすることが必要。社会教育施設、文化施設が親しみやすいものになれば。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重において、子供の虐待は非常に大きな問題なので記載してほしい。
多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的にクリティカルに深く考えられる人材の育成、和歌山の様々な資産を生かして大きく個人を育てることが非常に重要。